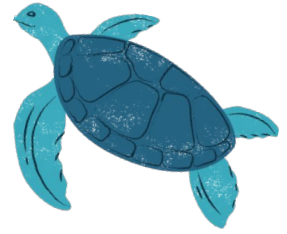


海洋汚染と地球温暖化



現状



環境汚染にはプラスチックが大きく関係しています。

プラスチックがビーチや土壌などで太陽光にさらされたりして劣化が進む過程で、メタンなどの温室効果ガスが発生することが、今年新たにハワイ大学の研究で発覚しました。研究では、最もよく使われる7つのプラスチック素材が調べられ、数日海水に浸した後に日光に当てたところ、7つ全てのプラスチックからメタンとエチレンが発生しました。特に、レジ袋を代表として最もよく使われているプラスチック素材である低密度ポリエチレンは、温室効果ガスを最も多く放出する素材であることがわかりました。

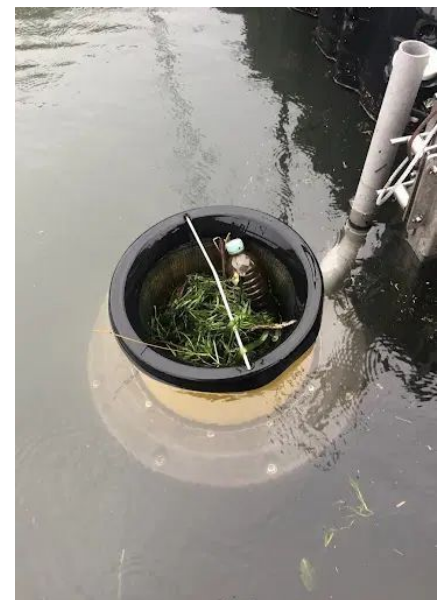
こうして排出された温室効果ガスが、実際にどれくらい温暖化に影響しているのかはまだ研究途中ですが、使い捨てプラスチックが私たちの予想を超えて、地球に大きなインパクトを与えていることをこの研究は教えてくれています。

また、石油から作られるプラスチックは燃やすと二酸化炭素(CO₂)を発生して地球温暖化の原因となるうえ、海に流出すれば簡単に分解せず、大きさ5ミリメートル以下の微細なマイクロプラスチックとなって海中を浮遊して生態系を含む環境汚染を引き起こします。

日本の取り組み

日本の企業の株式会社TBMが紙やプラスチックの代替となる「LIMEX」を開発しました。LIMEXとは石灰石ベースとしたプラスチック・紙の代替製品を成形また、リサイクルが可能な新しい素材です。

また、SUSTAINABLE JAPANという企業が海洋浮遊ゴミ回収機SEABENという機械を作りました。



SEABEN ↑

個人でできる取り組み

- ・エコラベルのついた製品を買う。
- ・マイバッグを持参しレジ袋をもらわない。
- ・3R賢く利用する。
- ・ごみをポイ捨てしない。
- ・屋外で出たゴミは持ち帰り処分する。

